営業支援プラットフォーム「REGASAS」における JD-NET 第 8 次改訂への対応について

株式会社日立医薬情報ソリューションズ（取締役社長 福島 宗親／以下、日立医薬情報ソリューションズ）は、営業支援プラットフォーム「REGASAS」ソリューションにて、新たに業界標準 EDI である JD-NET^{*1}の「第 8 次システムにおける新フォーマット対応」を標準機能として実装したことをお知らせ致します。

^{*1}JD-NET：株式会社 NTT データが提供する医薬品業界のデータ交換システム

JD-NET においては、将来の医薬品流通を支え続ける商流 EDI 基盤の実現や、企業コードの枯渇や統一商品コード体系くずれなどの問題の解消をめざし、新フォーマットでのデータ提供を開始しました。ほぼすべてのデータ種でフォーマット変更が行われると共に新しいデータ種の運用が開始されるため、サービスを利用される多くのお客様に影響が発生し、対応が必要となります。なお、新旧フォーマットでの並行運用期間は 2027 年 11 月までの予定です。

日立医薬情報ソリューションズはこのような状況のもと、製薬業界で豊富な導入実績を持つ REGASAS の実消化モジュールに対し、第 8 次システムサービス対応で必要となる「レイアウト変更に伴うクレンジング処理変更及び追加、生物由来データ統合に伴う対応」などの機能を標準機能として実装しました。

この結果、個別でのシステム改修負荷の低減が可能となり、新規に実消化システム導入を検討されるお客様、既存システム改修を検討されるお客様にとり、より効率的な選択肢としてご検討いただけるサービスとなりました。

REGASAS シリーズは、実消化を中心とした BPO サービス、卸在庫、計画管理、リポート管理、EPPV（市販直後調査）、DSCI（情報伝達）、法規制テンプレート（品質/安全性/苦情）といった各モジュールで構成され、様々なデータを受信・管理し、高品質なデータを提供するサービスとなっています。

日立医薬情報ソリューションズは、REGASAS ソリューションを核に、関連する BI ソリューション等も活用し、今後も製薬・医療機器企業の営業系 IT システム高度化推進に積極的に取り組み、業務改善や業務改革に貢献できるソリューションの提供を充実させていきたいと考えています。

この新着情報記載の情報(サービスの内容、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。

予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。